# TOSHIBA



00年 1月



次

目

1	•	はじめに		3
2	2 2 2 2	操作の前に . 1 S 2 0 ロ . 2 操作手順 . 3 画面の見 . 4 基本的キ	ーダとは 「 .方 ー	4
3	3 . 3 .	ローダの立ち .1 ステーシ .2 ローダソ	上げ ョンの接続 フトの起動	8
4	4	操作 .1 基本メニ (1)機能		9 9
	4	(2)操作方法 .2 設定情報 4.2.1 機 4.2.2	; { 能 j面	11
		4.2.3 4.2.4 4.2.5 7	テーション全情報 キャン伝送情報 テーション制御情報	
	4	4 .2 .6 S .3 データア 4 .3 .1 機 4 .3 .2 画	IF部設定情報 ?クセス 能 j面	29
	2	4.3.3 ス 4.3.4 基 4.3.5 S	キャンエリアのアクセス 本部メモリエリアのアクセス IF部メモリエリアのアクセス	
	4 2	.4 RAS情 4.4.1 機 4.4.2 画 4.4.3 オ 4.4.2 ス 4.2 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス 、 4 、 4	™	34
	2	4.4.6 ス	テーションダウン情報	

4.5	回線要求	41
4.	5.1 機能	
4.	5.2 画面	
4.	5.3 オンライン要求	
4.	5.4 スタンバイ要求	
4.6	テスト要求	46
4.	6.1 機能	
4.	6.2 画面	
4.	6.3 ハードウェアテスト	
4.	6.4 ステーション折り返しテスト	
4.7	ステーション接続図	52
4.	7.1 機能	
4.	7.2 画面	
г <i>ь</i> л		
5. 烝	了	54
5. 終	了	54
5. 怒< 付録 >	了 S-LSローダ PC-9801版御使用上の注意事項	54 55
5. 終 <付録>	了 S-LSローダ PC-9801版御使用上の注意事項	54 55
5. 終	「了	54 55 61
5. 終 <付録>	了 S - L S ローダ P C - 9 8 0 1 版御使用上の注意事項 S - L S ローダ D O S / V 版御使用上の注意事項	54 55 61
5. 終 <付録>	<ul> <li>了</li> <li>S - L S ローダ P C - 9 8 0 1 版御使用上の注意事項 …</li> <li>S - L S ローダ D O S / V 版御使用上の注意事項</li> <li>S - L S ローダ D O S / V 版</li> </ul>	54 55 61
5. 終 <付録>	了 S-LSローダ PC-9801版御使用上の注意事項 S-LSローダ DOS/V版御使用上の注意事項 S-LSローダ DOS/V版 Ver1.1 Ver2.0への変更内容	54 55 61 62
5. 終 <付録>	了 S-LSローダ PC-9801版御使用上の注意事項 S-LSローダ DOS/V版御使用上の注意事項 S-LSローダ DOS/V版 Ver1.1 Ver2.0への変更内容	5 4 5 5 6 1 6 2
5. 終 <付録>	<ul> <li>了</li></ul>	5 4 5 5 6 1 6 2

S-LSローダ エラー応答メッセージ一覧...... 87

6 E 3 B 0 5 3 5

6 E 3 B 0 5 3 1

6 E 3 B 0 5 3 2

1. はじめに

この説明書は、データ伝送装置TOSLINE-S20の伝送ローダについて説明します。

**TOSLINE-S20の説明書は、次の構成を取っています。目的に応じて御参照下さい。** 

### ・概要

TOSLINE-S20の概要と仕様について述べています。 本装置を導入する場合、TOSLINE-S20システム全体の概略を把握・理解するためにお読み 下さい。

#### ・機能

システム設計を行う場合、TOSLINE-S20の機能を理解し、TOSLINE-S20に 接続する機器のソフトウェア設計をするうえで、伝送機能とソフトウェアの取扱いを理解するため にお読み下さい。

・据え付け・配線

工事担当者がTOSLINE-S20の据え付け・配線を行うための要領を述べています。

・保守・点検

運用者が保守・点検を行うための点検方法、及び、障害発生時のトラブルシューティング方法に ついて述べています。

・S20ローダ(本書)

S20ローダを使用してシステムの保守監視、及び、ステーションの情報設定を行う方法について 述べています。

以下の取扱い説明書は、ステーション種別毎の説明書です。 システム設計者、装置設計者、及び、保守担当者がTOSLINE-S20を組み込んで使用する うえで装置 側の設計を行うためにお読み下さい。 なお、装置側の設計を行うためには、装置本体の説明書も併せてお読み下さい。

・SIF(シリアルインタフェース)ステーション 6 E 3 B 0 5 4 1

・T3ステーション

6 E 3 B 0 5 4 2

6 E 3 B 0 5 3 3

6 E 3 B 0 5 3 4

6 E 3 B 0 5 3 5

## 2. 操作の前に

2.1 S20ローダとは・・

S 2 0 ローダは、J-3100を利用してステーションの状態の監視、制御データの読み出し/書き 込み,およびパラメータの設定等を行うものです。

(注)本ソフトウェアを使用する場合、日本語MS-DOSのバージョン3.1を使用してください。

2.2 操作手順

このマニュアルでは、次の順序に従って本ソフトを実行できます。



この操作手順をS20ローダのメニュー階層で表すと下図のようになります。 《 》はこのマニュアルでの操作手順です。



図2.1 S20ローダのメニュー階層

2.3 画面の見方

S20ローダの操作画面は、次のように構成されています。



- <1>> コマンド選択ライン
  - [F1]~[F10]キーで指定できます。
- <2> 本ローダが接続しているステーションの状態と<1>で選択したコマンドを表示します。
- < 3 > 補助説明を表示します。
- < 4 > メニュー画面、情報設定画面、回線状態の画面が表示されます。
- 2.4 基本的キー
  - [Enter] キー ------ 情報の確定をします。
  - [ESC]キー -----・メインメニュー画面に戻ります。
  - [F10]キー ------- 退出キーのことで、前画面に戻ります。

  - 登録キー -----------登録モードとなり、実行の確認待ちとなります。
  - 次頁キー ------ 次画面が表示されます。
  - 連続キー ------ 連続モードに変わります。
  - ステップキー ------ ステップモードに変わります。
  - アップキー ------ 次のアドレスのデータを読み出し、表示します。
  - ダウンキー ------ 前のアドレスのデータを読み出し、表示します。
  - 10進数キー ------ 表示形式が10進数に変わります。
  - 16進数キー ------ 表示形式が16進数に変わります。

メニューを選択するときは、[ ][ ][ ]キーで指定して[Enter]キーを押すか、機 項目の前に表示されている英数字をキーボードから入力して下さい。

### 3. ローダの立ち上げ

3.1 ステーションの接続

本ローダは、S20ローダ装置(J-3100)にS20伝送ステーションをRS-232Cで 接続します。これにより、接続された伝送ステーションおよび伝送ケーブルでつながっている他の ステーションの設定・監視を行うことができます。

伝送ケーブルは以下のものを使用し、J-3100の9ピンコネクタ(オス)とS20ステーションのLOADER用コネクタ(9ピン・メス)を接続します。

伝送ケーブル 製品コード ------ TCJ905\*CS

仕様 ------------ 両端 9 ピン D - S U B コネクタ (ただし、J - 3 1 0 0 側:メス , ステーション側:オス)

長さ:5メートル



J-3100の背面

図3.1 ケーブルの接続

3.2 ローダソフトの起動

ローダソフトを起動します。

フロッピーディスクからの起動

電源を入れ、MS-DOSが立ち上がったらディスクをドライブAに挿入し、キーボードから [A][:] [Enter]と入力します。 "A:¥> "と表示されたら、キーボードから[S][L]

[S]と入力し、 [Enter]キーを押して下さい。

ローダソフトが起動し、基本メニュー(メインメニュー)が表示されます。

## 4. 操作

- 4.1 基本メニュー画面
  - (1)機能
    - ローダには、次の基本メニューを表示します。各コマンドの概要は次の通りです。 設定情報

各ステーションの伝送情報を設定する時に使用します。

データアクセス

スキャンデータを読み出し / 書き込みします。

RAS情報

ステーションの状態を監視する場合に使用します。

回線要求

ステーションのオンライン / スタンバイを指定します。

テスト要求

テストコマンドを発行してステーションの動作チェックを行います。

システム構成図

現状システムのステーションの接続状態を図示します。

終了

本ソフトを終了します。

(2)操作方法

S20ローダが立ち上がると、下図の『メインメニュー画面』を表示します。 この画面から各機能への選択が可能となります。

* * * 伝 送 ロ ー ダ メ ニ ュ ー * * *
1:設定情報
D:データアクセス
R: R A S 情報
C:回線要求
T:テスト要求
S:ステーション接続図
Q:終了
[ ]又は[ ]キーにて選択後、[Enter]キーを押して下さい。

図4.1 メインメニュー画面

メインメニュー画面から選択をします。

キーボード上の矢印キー([]、[])でカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して機能を 選択するか、または、機能項目の前に表示されている英字(I,D,R,C,T,S)をキー入力することにより、 機能を選択して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が網掛け表示になります。

メインメニュー画面から選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。ここでは、 例として、[I:設定情報]を選択しています。



図4.2 設定情報 詳細メニュー

4.2 設定情報

4.2.1 機能

ステーションの伝送パラメータを設定します。ステーションは電源を投入すると内部のEEPROM の中に格納されている設定情報で動作を開始します。この時、EEPROMにあらかじめ設定情報が格 納されていない場合はスタンバイ状態となり、設定情報待ちとなります。このような設定待ち、及び、 既に起動しているステーションの設定情報を変更する場合に本機能を使用します。

注) 動作中に情報を変更する場合は、一度ステーションを回線要求でスタンバイ状態にする必要が あります。

なお、設定情報にはステーションの設定をすべて行う『1:ステーション全情報』と、個々に 設定を行うことができる『2:スキャン伝送情報』、『3:ステーション制御情報』、『4: SIF部設定情報』があります。

4.2.2 画面

メインメニュー画面で『I:設定情報』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせて きます。



図4.3 設定情報 詳細メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー([])、[])でカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して機能を 選択するか、または機能項目の前に表示されている数字(1,2,3,4)をキー入力して下さい。機能が選択 されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されますと、各データアクセス画面が表示されます。

4.2.3 ステーション全情報

ここでは、スキャン伝送情報、ステーション制御情報、SIF部設定情報(ただし、SIFステーションの場合)の表示・設定を一括に行います。

【1】スキャン伝送情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『1:ステーション全情報』を選択すると、次のスキャン伝送情報の設定 画面が表示されます。

	ステーション	ノ全情報
< スキャン伝送情報	>	
1. ステーションNO.	( 1 - 64 )	[ 🔳 ]
2. ステーション種別		
3. 送信先頭アドレス 1	( 0 - 1023 )	[ ]
4. 送信ワード数1	( 0 - 1024 )	[ ]
5. 送信先頭アドレス 2	( 0 - 1023 )	[ ]
6. 送信ワード数2	( 0 - 1024 )	[ ]
ステーションNo.を入力して	[Enter]キーを押	して下さい。
TL:ONLINE 設定情報		

図4.4 設定情報 スキャン伝送情報

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
 指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーションNo.をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が画面 に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面の下の方に読み出しを表示します。 (2) ステーションNo.(この場合、ステーションNo.01)を入力すると、次画面のように、 以前に設定してあったデータが表示されます。

	ステーション全情	報
< スキャン伝送情報	>	
1. ステーションNO.	( 1 - 64 ) [01	]
2. ステーション種別	SI	F STN
3. 送信先頭アドレス1	( 0 - 1023 ) [ 05	512 ]
4. 送信ワード数1	( 0 - 1024 ) [ 01	28 ]
5. 送信先頭アドレス 2	( 0 - 1023 ) [ 06	j40 ]
6. 送信ワード数 2	( 0 - 1024 ) [ 01	28 ]
IL:ONLINE   設定情報     設定   次頁		退出

図4.5 設定情報 スキャン伝送情報

 (3) ここで、設定[F1]キーを押すと設定モードとなり、送信先頭アドレス1・送信ワード数1・ 送信先頭アドレス2・送信ワード数2(3~6)に対して、設定値の入力・変更が可能となりま す。また、設定モードになると、現在のコマンドの状態として画面下に 設定 が表示されるの で、矢印キー([]、[])でカーソルを移動させて、位置を指定し、設定値の入力・変更 を行って下さい。

なお、数字以外の文字をキー入力したり、項目の数値設定に適切な値でなければ、警告ブザー が鳴り、エラーメッセージが表示されます。

(4) 設定値の入力が終了したら登録 [F4]キーを押し、登録モードにします。登録モードでは、実 行の確認待ちをし、次のように確認を問い合わせてきます。

実行して	良いですか。		
Y:実行	N:中止		

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(5) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])に より『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録処理が 行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



(6) また、画面の次頁 [F2] キーを押すと、スキャン伝送情報画面からステーション制御情報設定 画面に変わります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に 戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。
  - [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

【2】ステーション制御情報画面の設定

スキャン伝送情報画面の次頁 [F2]キーを押すと、スキャン伝送情報で指定した下図のステーション 制御情報設定画面が表示されます。



図4.6 設定情報 ステーション制御情報

 (1) スキャン伝送情報画面と同様に、設定[F1]キーを押すと設定モードとなり、設定値の入力・ 変更が可能となります。また、設定モードになると、現在のコマンドの状態として画面下に

 設定
 が表示されるので、矢印キー([]]、[]]、[]]、[])で指定値の位置に カーソルを移動させて、[Enter]キーを押してデータの変更を行って下さい。

 (2) ただし、目標サイクル時間のデータの設定の時は、矢印キー([])、[])を移動させて、 下記の目標サイクル時間の中から選択して下さい。

1.02	16.3
2.05	20.5
3.07	24.6
4.10	28.7
5.12	32.8
6.14	36.9
7.17	41.0
8.19	45.1
9.22	49.2
10.20	53.2
11.30	57.3
12.30	61.4
13.30	
14.30	
15.40	

(図4.7 目標サイクル時間)

(3) データの設定を終えたら、登録 [F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の 確認待ちとなります。

中にして	白いですか		
夫1」して	民いてタか。		
∨. 宇⁄示	Northule		
「. 夫1」	N. 49 IL		

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(4) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])に より『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録処理が 行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。 何かキーを押して下さい。	

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



以降は、スキャン伝送情報の登録モードの操作と同じです。

(5) また、指定ステーションがSIFステーションの場合は、コマンド選択ラインに 次頁 が 表示されます。次頁[F2]キーを押すと、ステーション制御情報画面からSIF部設定情報ポート1設定画面に変わります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に 戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。
- [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

【3】SIF部設定情報画面の設定

ステーション制御情報画面で次頁[F2]キーを押すと、指定されたステーションNo.がSIF ステーションの場合は、SIF部設定情報画面を表示します。

(1) シリアル・インターフェース部のポート1の設定情報画面が、次画面のように表示されます。

	ステーション全情報
< SIF部設定情報	ポート1 >
<ol> <li>ステーションNO.</li> <li>ボーレート</li> <li>データ長</li> <li>パリテイ</li> <li>ストップビット</li> <li>フローコントロール</li> <li>伝送種別</li> <li>マルチキャスト アドレス</li> <li>無手順相手先</li> </ol>	<ul> <li>(1-64) 01</li> <li>300 600 1200 2400 4800 <u>9600</u> 19200</li> <li>7 8 (Bit)</li> <li>無し <u>奇数</u> 偶数</li> <li><u>1</u> 2 (Bit)</li> <li><u>有り</u> 無し</li> <li><u>メッセージ伝送</u> 無手順/同報</li> <li>(0-9, 無し:F) [F]</li> <li>(1-64,無し:0) [63]</li> </ul>
アドレス 10. 無手順相手先 ポート	無し <u>1</u> 2
TL: <mark>ONLINE 設定情報</mark> 設定 次頁	退出

図4.8 設定情報 SIF部設定情報

- (2) 設定値の入力・変更をする時は、今までと同様に、設定[F1]キーを押して、設定モードで 行って下さい。設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に 設定が 表示されます。
- (3) データの設定を終えたら、登録[F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行 の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。 (4) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
日かた。た押してエナい
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

( 異常内谷を表示する ) 何かキーを押して下さい。	ſ	
何かキーを押して下さい。		(異吊内谷を表示する)
		何かキーを押して下さい。

- (5) また、画面の次頁 [F2] キーを押すと、SIF部設定情報ポート1画面からSIF部設定 情報ポート2の設定画面に変わります。
- (6) SIF部設定情報ポート1画面で次頁[F2]キーを押すと、ポート2の設定情報画面が次 画面のように表示されます。

		ステーション全情報
	< SIF部設定情報	ポート 2 >
1.	ステーションNO.	( 1 - 64 ) 01
2.	ボーレート	300 600 1200 2400 4800 <u>9600</u> 19200
3.	データ長	7 8 (Bit)
4.	パリテイ	無し <u>奇数</u> 偶数
5.	ストップビット	<u>1</u> 2 (Bit)
6.	フローコントロール	<u>有り</u> 無し
7.	伝送種別	<u>メッセージ伝送</u> 無手順/同報
8.	マルチキャスト	( 0 - 9, 無し:F ) [F]
	アドレス	
9.	無手順相手先	(1-64,無し:0 ) [00]
	アドレス	
10.	無手順相手先	無し <u>1</u> 2
	ポート	
TL: ONLINE	設定情報	
設定		退出

図4.9 設定情報 SIF部設定情報

(7) 設定値の入力・変更をする時は、今までと同様に、設定[F1]キーを押して、設定モード で行って下さい。設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に が表示されます。 (8) データの設定を終えたら、登録[F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行 の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(9) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10]キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
  - [Esc]キー : メインメニュー画面に戻ります。
- (10) 以上で、『1:ステーション全情報』の表示・設定が終了となります。

4.2.4 スキャン伝送情報

スキャン伝送情報の表示、設定を行います。

スキャン伝送情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『2:スキャン伝送情報』を選択すると、次のスキャン伝送情報の設定 画面が表示されます。



図4.10 スキャン伝送情報

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
 指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーションNo.をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が 画面に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面下の方に読み出し を表示します。

 (3) データの設定を終えたら、登録[F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行 の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(4) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました	
豆螺旋座方光」のようだ。	
何かキーを押して下さい。	
13.0 1 231 2 1 2 0	

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
  - [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.2.5 ステーション制御情報

ステーション制御情報の表示、設定を行います。

ステーション制御情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『3:ステーション制御情報』を選択すると、次のステーション制御情報 の設定画面が表示されます。



図4.11 ステーション制御情報

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
 指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーションNo.をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が 画面に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面下の方に読み出しを表示します。

 (3) データの設定を終えたら、登録[F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行 の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(4) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました	
豆螺旋座方光」のようだ。	
何かキーを押して下さい。	
13.0 1 231 2 1 2 0	

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
  - [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.2.6 SIF部設定情報

SIFステーションのSIF部情報の表示、設定を行います。

SIF部設定情報ポート1の画面設定

設定情報詳細メニューで『4:SIF部設定情報』を選択すると、シリアル・インタフェース (SIF)部のポート1の設定情報の画面が次のように表示されます。

< SIF部設定情報	ポート1 >				
<ol> <li>ステーションNO.</li> <li>ボーレート</li> <li>データ長</li> <li>パリテイ</li> <li>ストップビット</li> <li>フローコントロール</li> <li>フレチキャスト アドレス</li> <li>無手順相手先 アドレス</li> <li>無手順相手先 ポート</li> </ol>	<pre>(1-64) [■] 300 600 1200 2400 4800 <u>9600</u> 19200 7 8 (Bit) 無し <u>奇数</u> 偶数 <u>1</u> 2 (Bit) <u>有り</u> 無し <u>メッセージ伝送</u> 無手順/同報 (0-9, 無し:F) [F] (1-64,無し:0) [63] 無し <u>1</u> 2</pre>				
ステーションNo.を入力して[Enter]キーを押して下さい。 TL:ONLINE 設定情報 次頁 退出					

- 図4.12 SIF部設定情報ポート1
- (1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
   指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

この時、指定したステーションNo.がSIFステーションでない場合は、下記のように メッセージを表示してきます。

SIFステーションではありません。 何かキーを押して下さい。

何かキー入力すると、再度、ステーションNo.のキー入力待ち状態となります。

また、指定したステーションがスタンバイモードでない場合は、下記のように表示します。

スタンバイモードではありません。

この場合は、指定したステーションをスタンバイモードにしてから、もう一度実行して下さ い。スタンバイモードにするには、メインメニュー画面に戻り、『C:回線要求』を選択し、 スタンバイ要求を行って下さい。

- (2) 設定値の入力・変更をする時は、設定[F1]キーを押して、設定モードで行って下さい。 設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に
  <u>設定</u>が表示されます。
- (3) データの設定を終えたら、登録 [F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行 の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(4) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。	
何かキーを押して下さい。	

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する) 何かキーを押して下さい。	

特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc]キー : メインメニュー画面に戻ります。

(5) SIF部設定情報ポート1の画面で次頁[F2]キーを押すと、SIF部設定情報ポート1 画面からSIF部設定情報ポート2の設定画面に変わり、次のように表示されます。



図4.13 SIF部設定情報ポート2

- (6) 設定値の入力・変更をする時は、設定[F1]キーを押して、設定モードで行って下さい。 設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に
  設定
- (7) データの設定を終えたら、登録 [F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良い	ですか。	
Y:実行 N:	中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。 (8) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

※ 4 加 珊 が ウ フ し ま し た
豆銶処理か元」しよしに。
仰かキーを押して下さい。
内がモーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



特殊キーには次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー: ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
- [Esc]キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.3 データアクセス

4.3.1 機能

ステーションの中にあります、スキャンエリアに対してデータの読み出し / 書き込みを行います。

4.3.2 画面

メインメニュー画面で『D:データアクセス』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い 合わせてきます。

* * *	伝 送 ロ ー ダ メ ニ ュ ー * * *
Ⅰ:設定情報	
D:データアクセス	< F-9792X >
R: R A S 情報	1:
C:回線要求	
T:テスト要求	
S:ステーション接続図	
Q:終了	
[]又は[]キ TL:ONLINE	ーにて選択後、[Enter]キーを押して下さい。
	退出

図4.14 データアクセスの詳細メニュー

[Enter]キーを押すか、または機能項目の前に表示されている数字(1)をキー入力 して下さい。スキャンエリアのアクセス画面が表示されます。 4.3.3 スキャンエリアのアクセス

指定されたステーションのスキャンエリアを読み出し / 書き込みを行います。

スキャンエリアのアクセス画面

データアクセス詳細メニューで『1:スキャンエリアのアクセス』を選択すると、次のスキャン エリアのアクセス画面が表示されます。

	< スキャンエリアのアクセス >								
1.	ステーションNO. (1-64) [								
2.	先頭アドレス (0-1024) [ ]								
3.	読み出しワード数 ( 1 - 16 ) [ ]								
4.	データ								
項目 1	 項目1.2.3.を指定して [Enter] キーを押して下さい。								
TL: ONLINE									

図4.15 データアクセス スキャンエリアのアクセス

(1) データの入力を行います。

矢印キー([])でカーソルを移動させて、項目1.2.3のステーションNo.・ 先頭アドレス・読み出しワード数にデータをキー入力し、[Enter]キーを押して下さい。

なお、項目1.2.3のデータの入力時に、数字以外の文字をキー入力したり、項目の数値 設定に適切でない値を入力した時、また指定データを入力しなかった時、下記のようにメッセ ージを表示し、再度入力待ち状態となります。



(2) 以上、正しく入力を終えると、画面上に指定したスキャンエリアのデータが10進数形式で、 次画面のように表示されます。

なお、スキャンエリアのデータの表示形式は、10進数[F1]キー、または16進数[F2] キーにより切り替えることができます。

< スキャンエリアのアクセス >
1. ステーションNO. (1-64) [1]
2. 先頭アドレス ( 0 - 1023 ) [ 0]
3. 読み出しワード数 ( 1 - 16 ) [16]
4. データ
0       1       2       3       4       5       6       7         0000       [       9029]       [       65535]       [       4369]       [       2]       [       4372]       [       5]       [       6]         0008       [       4660]       [       0]       [       41251]       [       0]       [       65331]       [       8789]       [       1]       [       9029]
TL: ONLINE $\overline{r}^* - \overline{q} \overline{r} \overline{q} \overline{r}$
10進数     16進数     設定     ステップ     連続     ダウン     アップ     退出

図4.16 データアクセス スキャンエリアのアクセス

(3) データの読み出し処理には、ステップ読み出しモードと連続読み出しモードがあり、ステップ [F5]キーまたは、連続[F6]キーによりモードの切り替えを行います。 ステップ読み出しモードとは、スキャンエリアのデータを次のキー操作により読み出しして、 表示するものです。連続読み出しモードとは、同じアドレスを連続して読み出し表示するもの です。

> [Enter]キー : 同じアドレスのデータを再度、読み出し表示します。 アップ[F8]キー : 次のアドレスのデータを読み出し表示します。 ダウン[F7]キー : 前のアドレスのデータを読み出し表示します。

(4) スキャンエリアのデータを入力・変更する時は、設定[F3]キーを押し、次画面のような 設定モードで行って下さい。データの入力形式は、10進数[F1]キー、または16進数 [F2]キーによって切り替えることができます。

ただし、16進数形式でデータを入力する時は、各データの先頭には"H"が表示されるので、数字の部分だけキー入力して下さい。

例) [H<u>0000</u>]

< スキャンエリアのアクセス >
1. ステーションNO. (1-64) [1]
2. 先頭アドレス (1-1024) [ 0]
3. 読み出しワード数 ( 1 - 16 ) [16]
4. データ
0 1 2 3 4 5 6 7 0000 [H2345] [HFFFF] [H1111] [H0002] [H1233] [H1114] [H0005] [H0006] 0008 [H1234] [H0000] [HA123] [H0000] [HFF33] [H2255] [H0001] [H2345]
TL:ONLINE     データアクセス     設定       10進数     16進数     登録     2000000000000000000000000000000000000

図4.17 データアクセス スキャンエリアの書き込み

(5) データの設定を終えたら、登録 [F4]キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して	良いですか。	
Y:実行	N:中止	

登録処理を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

(6) 登録処理を実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。正常に登録 処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。 何かキーを押して下さい。
------------------------------

(7) 異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

# (異常内容を表示する) 何かキーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

- 退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
  - [Esc] キー :メインメニュー画面に戻ります。

4.4 RAS情報

#### 4.4.1 機能

ステーションのRAS情報の読み出しを行います。

RAS情報の種類と内容は、次の通りです。

オンラインマップ : システム中の全ステーションのオンライン / スタンバイ / オフライン (または、接続無し)状態を表示します。 スキャンヘルシーマップ : スキャンデータの更新状態を表示します。 ステーションステータス : 各ステーションの状態を表示します。 ステーションダウン情報 : ダウン時、そのステーションのダウン原因を表示します。

4.4.2 画面

メインメニュー画面で『R:RAS情報』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。



図4.18 RAS機能メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー([]、[])でカーソル移動させ、[Enter]キーを押して機能を選択 するか、

または機能項目の前に表示されている数字(1,2,3,4)をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されますと、各データアクセス画面が表示されます。

4.4.3 オンラインマップ

回線に接続されているステーションのオンライン/スタンバイ/オフライン状態を表示します。

オンラインマップ画面

RAS情報詳細メニューで『1:オンラインマップ』を選択すると、オンラインマップ情報が 約3秒周期でステーションから読み込みし、次画面のように表示します。

	<	オン	ライ	ンマ	ップ	>											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48		
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
TL: <mark>ONLINE</mark>		RA	S情	報												退出	

図4.19 RAS情報 オンラインマップ

(1) 上記の画面のオンラインマップの意味は、次の通りです。 ・・・・ スタンバイモード

・・・・ オンラインモード無印・・・・ オフラインモード、またはステーション無し
(2) 接続ステーションがオフライン、またはダウン状態であれば、下記のようなメッセージを 表示します。

		<	オン	ライ	ンマ	ップ	>											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48		
	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
	7 두	_ = >/	= <b>`</b> /	がオ	75	<u>م م</u>	です											_
何か=	<, ) ≠ —	, を押	コノして	下さ	l 1。		C 9	0										
TL:ONLI	NE		RA	S情	報												退	ł

図4.20 RAS情報 オンラインマップ

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [ F10 ] キー	:	現在の状態の前の画面状態に戻ります。
[Esc] <b>キー</b>	:	メインメニュー画面に戻ります。

4.4.4 スキャンヘルシーマップ

スキャンデータの更新状態を表示します。 これにより、該当するスキャンデータが正常に更新されているかどうかがわかります。

スキャンヘルシーマップ画面

RAS情報詳細メニューで『2:スキャンヘルシーマップ』を選択すると、スキャンヘルシー マップ情報が約3秒周期でステーションから読み込みし、次画面のように表示します。

	<	ス	<b>キャ</b> :	ンへ	ルシ・	-マ	ップ	>									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
[0000]																	
[0016]																	
[0032]																	
[0048]																	
[0064]																	
[0080]																	
[0096]																	
[0112]																	
[0144]																	
[0160]																	
[0176]																	
[0192]																	
[0208]																	
[0224]																	
[0240]																	
				= +0													
IL:ONLINE	\ <del>7</del> 7	j	KAS信	了 平反	_				_								
	次	<b></b> ,														返	

図4.21 RAS情報 スキャンヘルシーマップ

- (1) スキャン伝送の実行 / 不実行状態を上画面のように16ワード単位で表示します。
   ・・・・ スキャン伝送が正常に行われています。
   ・・・・ スキャン伝送が行われていません。
- (2) 次頁[F2]キーを押すことにより、第1画面から第2画面を順次表示できます。 また、第4画面を表示している時に次頁[F2]キーを押すと、第1画面に戻ることができます。
- (3) 接続ステーションがオフライン、またはダウン状態であれば、オンラインマップ時のような エラーメッセージが表示されます。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [ F10 ] キー	:	現在の前の画面状態に戻ります。
[Esc] <b>キー</b>	:	メインメニュー画面に戻ります。

4.4.5 ステーションステータス

指定されたステーションのステーションステータスを読み出しします。

ステーションステータス画面

RAS情報詳細メニューで『3:ステーションステータス』を選択すると、次のステーション ステータス画面が表示されます。



図4.22 RAS情報 ステーションステータス

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
 指定したステーションのステーションステータスを読み出して、画面に表示します。

(2) ステーションNo.(この場合No.01)を入力すると、次画面のようにステーション ステータスを読み出して表示します。



図4.23 RAS情報 ステーションステータス

- なお、特殊キーには次の働きがあります。
  - 退出 [F10] キー: ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。
    - [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.4.6 ステーションダウン情報

接続ステーションからダウン原因を読み出します。 なお、ステーションダウン情報は、接続ステーションがダウン状態の時に実行が可能となります。

ステーションダウン情報画面

RAS情報詳細メニューで『4:ステーションダウン情報』を選択すると、接続ステーションの ダウン情報を読み出し、次画面のように表示します。

< ステーションダウン情報 >	
1. ステーションNO.	(1-64) 5
2. ダウン情報 [30H : 接続機器	š(SIF)異常   ]
TL:ONLINE RAS情報	

図4.24 RAS情報 ステーションダウン情報

(1) 接続ステーションがダウン状態でないときは、下記のメッセージが表示されます。

オンラインモードです。
何かキーを押して下さい。

(2) ステーションダウン状態としては、次のメッセージを表示します。

10H:ウオッチ・ドック・タイム・アウト
 0H:メモリバス異常
 0H:接続機器(SIF部)異常
 0H:MACジャバタイムアウト
 0H:ハードウェア異常
 7H:SIF部立ち上げ異常
 7H:受信バッファオーバーフロー

なお、特殊キーには、次の働きがあります。 退出 [F10] キー : 現在の前の画面状態に戻ります。 [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。 4.5 回線要求

4.5.1 機能

指定ステーションに対し、オンライン要求およびスタンバイ要求の回線要求を行います。 主として、ステーションの設定情報の変更を行う場合に使用します。その場合、オンライン状態の ステーションに対してスタンバイ要求を行い、次の設定情報の変更後、オンライン要求を指定ステー ションに行います。

4.5.2 画面

メインメニュー画面で『C:回線要求』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

* * *	伝 送 ロ ー ダ メ ニ ュ ー * * *
I:設定情報	
D:データアクセス	
R: R A S 情報	1. <u>オンノイン安水</u> 2.フタンバイ亜式
C:回線要求	
T:テスト要求	
S:システム構成図	
Q:終了	
	ーにて選択後 「Enter]キーを拥して下さい
TL:ONLINE	
	退出

図4.25 回線情報メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー([])、[])でカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して機能 を選択するか、または、機能項目の前に表示されている数字(1,2)をキー入力して下さい。機能が 選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されますと、各データアクセス画面が表示されます。

4.5.3 オンライン要求

指定したステーションをオンライン状態にします。

オンライン要求設定画面

回線要求詳細メニューで『1:オンライン要求』を選択すると、次のオンライン要求設定の画面 が表示されます。

< 回線要求 >							
1. ステーションNO.	( 1 - 64 ) [						
2. 要求種別	オンライン要求						
ステーションNO.を入力して [Enter] キーを押して下さい。							
TL:ONLINE 回線要求	退出						

図4.26 回線要求 オンライン要求

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

	< 回線要求 >		
1.	ステーションNO.	( 1 - 64 )	[]]
2.	要求種別	オンライン要求	
	て白いですか		
実行し Y:実行	N:中止		
TL: ONLINE	回線要求		
			退出

(2) ステーションNo.を入力し終えると、実行確認待ちとなり、次画面のように確認を問い合わせてきます。

図4.27 回線要求 オンライン要求

- (3) 実行を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])に より『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。
- (4) 実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([])、[])により、
   『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。	
定理と光子のなりた。	
何かキーを押して下さい。	

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



4.5.4 スタンバイ要求

指定したステーションをスタンバイ状態にします。

スタンバイ要求設定画面

回線要求詳細メニューで『2:スタンバイ要求』を選択すると、次のスタンバイ要求設定画面が 表示されます。

< 回線要求 >							
1. ステーションNO.	( 1 - 64 ) [						
2. 要求種別	スタンバイ要求						
ステーションNO.を入力して [Enter] キーを押して下さい 。							
TL:ONLINE スタンパ・イ要求	退出						

図4.28 回線要求 スタンバイ要求

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

(2) ステーションNo.を入力し終えると、実行確認待ちとなり、次画面のように確認を問い合わ せてきます。

<	回線要求 >		
1. ス	テーションNO.	( 1 - 64 )	۲ 🗖 ۲
2. 要:	求種別	スタンバイ要求	
宇にして自	いですか		
¥:実行	N:中止		
TL: ONLINE	回線要求		

図4.29 回線要求 スタンバイ要求

- (3) 実行を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])に より『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。
- (4) 実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([])、[])により、
   『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。 何かキーを押して下さい。	
----------------------------	--

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(男労山のちまニオス)
(共吊内谷を衣小9つ)
クッチー チャーティーション
仰かキーを押して下さい。

4.6 テスト要求

4.6.1 機能

指定ステーションに対し、テキスト要求を行います。

4.6.2 画面

メインメニュー画面で『T:テスト要求』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わ せてきます。

* * *	伝 送 ロ ー ダ メ ニ ュ ー * * *
Ⅰ:設定情報	
D:データアクセス	< テスト要求 >
R: R A S 情報	1:ハードウェアテスト
C:回線要求	2:ステーション折り返しテスト
T:テスト要求	
S:ステーション接続図	
Q:終了	
[]又は[]キ TL:ONLINE	ーにて選択後、[Enter]キーを押して下さい。
	退出

図4.30 テスト要求メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー([])、[])でカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して機能 を選択するか、または、機能項目の前に表示されている数字(1,2)をキー入力して下さい。機能が 選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されますと、各データアクセス画面が表示されます。

4.6.3 ハードウェアテスト

接続ステーションに対し、ROMエリア・設定スイッチ・ステーション妥当性のチェックの実行を 要求します。ハードウェアは、接続ステーションがスタンバイモードの時に実行が可能となります。 なお、本機能は、システム稼動中には行わないで下さい。行う場合は、伝送ケーブルを外し、シス テムから切り離して実行して下さい。

ハードウェアテスト要求画面

テスト要求詳細メニューで『1:ハードウェアテスト』を選択すると、次のテスト要求画面が表示 されます。

< テスト要求 >		
1. ステーションNO.	(1-64) 5	
2. テスト回数	1	
3. テスト種別	ハードウェアテスト	
実行して良いですか。 Y:実行 N:中止		
TL: <mark>STANBY テスト要求</mark>		旧山

図4.31 ハードウェアテスト要求

(1) 接続ステーションのNo.とテスト回数は自動的に設定され、実行の確認待ちとなります。

(2) 実行を中止したいときは、"N"をキー入力するか、または矢印キー([],[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。 (3) 実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([],[])により、
 『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時は、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)	
何かキーを押して下さい。	

また、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : 現在の状態の前の画面状態に戻ります。 [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。 4.6.4 ステーション折り返しテスト

オンライン、またはスタンバイステーション間でのデータ折り返し伝送を行います。 ただし、接続ステーションを相手ステーションに設定することはできません。それから、本機能を システム稼動中に使用することは避けて下さい。システム稼動中に本機能を使用すると、実システム で使用しているメッセージ伝送がビジー完了する可能性があります。

ステーション折り返しテスト要求画面

テスト要求詳細メニューで『2:ステーション折り返しテスト』を選択すると、次のテスト要求 画面が表示されます。

< テスト要求 >	
1. ステーションNO.	(1-64) [
2. テスト回数	[ ]
3. テスト種別	ステーション折り返し
項目1.2を入力して[Enter]キ	ーを押して下さい。
│ └────────────────────────────────────	
	退出

図4.32 ステーション折り返し

(1) データの入力を行います。
 矢印キー([])、[])でカーソルを移動させて、項目1.2のステーションNo.と
 テスト回数にデータをキー入力して下さい。

(2) ステーションNo.とテスト回数の設定を終えると、実行確認待ちとなり、次画面のように 確認を問い合わせてきます。

	< テスト要求	>					
1. 🕽	ステーションNO		(1-	64 )	[5]		
2.	テスト回数				[ 100 ]		
3. <del>.</del>	テスト種別		ステー	ション折り	)返し		
実行して Y:実行	良いですか。 N∶中止						
TL:ONLINE	テスト要求						退出
						<b>_</b>	

図4.33 テスト要求ステーション折り返し

- (2) 実行を中止したい時は、"N"をキー入力するか、または矢印キー([]、[])に より『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。
- (3) 実行したい時は、"Y"をキー入力するか、または矢印キー([])、[])により、
   "Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようにメッセージを表示してから実行処理を終了します。

<b>処理を完了しました</b> 。	
何かキーを押して下さい。	

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。



(4) テスト実行中は、次のように実行回数を表示します。

< テスト要求 >		
1. ステーションNO.	( 1 - 64 )	[5]
2. テスト回数		[ 100 ]
3. テスト種別	ステーション折り	)返し
テスト実行中 テスト実行回数	999 回	
IL:ONLINE テスト要氷		退出

図4.34 ステーション折り返しテスト

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面 に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc]キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.7 ステーション接続図

4.7.1 機能

現在、システムに接続しているステーションの接続状態・種別・スキャン伝送エリアを表示します。

4.7.2 画面

メインメニュー画面で『S:ステーション接続図』を選択すると、次画面のようにステーション 接続画面が表示されます。

ステーション接続図の画面

< ステーション接続図 >								
ステーションNo.	01	02	03	04	05	06	07	08
ステーション種別	Т3	T3	J3100	PC98	SIF	SIF	Т3	Т3
アト゛レス1	273	273	273	200	210	217	227	226
	308	308	308	255	216	226	235	230
アト゛レス2	256	256	1000	1010	1000	1010	1016	1021
	1024	1024	1005	1016	1008	1015	1020	1023
ステーションNo.	09	10	11	12	13	14	15	16
ステーション種別	9	RIO	G200					
アト゛レス1	231	241	251					
	240	250	260					
アト゛レス2	890	901	911					
	900	910	930					
	I	LJ	L1	L	L1	LJ	L	
	垤丝	ま図						
	····							

図4.35 ステーション接続図

(1) ステーション接続図の意味は次の通りです。



なお、四角内の数字は各ステーションのスキャン伝送情報を表示します。

ステーションNo. ステーション種別 アト゚レス1 アト゚レス2	01 ST3 200 210 1000 1010	<ul> <li>・・・・ステーションNo.</li> <li>・・・・ステーション種別</li> <li>・・・・第1送信先頭アドレス</li> <li>・・・・第1送信最終アドレス</li> <li>・・・・第2送信先頭アドレス</li> <li>・・・・第2送信最終アドレス</li> </ul>
	the second se	

- (2) 次頁 [F2] キーを押すと、次のステーション(16~64)の接続状態図を表示します。
- (3) また、接続ステーションがオフライン、またはダウン状態の時は、下記のメッセージが 表示されます。



5 . 終了

本ソフトを終了するには、[Esc]キー、または[F10]キーを用いてメインメニューまで戻ります。 次に、矢印キー([]][])で "Q:終了"の項目を指定して[Enter]キーを押すか、機能項目 の前に表示されている "Q"をキーボードから入力して下さい。

これで、本ソフトを終了することができます。

<付録>

# S-LSローダ PC-9801版 御使用上の注意事項

本取扱説明書は、東芝パーソナルコンピュータ」-3100での取扱説明が主体となっています。

NEC PC-9801でS-LSローダを御利用いただく場合も機能および、基本操作は同様となっていますのでJ-3100をPC-9801と読みかえて御使用下さい。

S-LS PC-9801版は、S-LS J-3100版を拡張したものであり、ここでは拡張した機能に ついてのみ説明します。拡張した機能は以下の通りです。

・キーボード対応

・カラー表示対応

拡張した機能以外は、S-LS J-3100版の取扱説明書を御覧下さい。

1.準備と確認

次の機器および環境設定が必要です。

- (1)NEC製パーソナルコンピュータPC-9801シリーズ
  - ・RAM 640Kバイト以上
  - ・VRAM テキスト12Kバイト以上
     グラフィック128Kバイト以上
  - ・1FD(3.5inch 2HD)ドライブ以上
- (2)05

PC-9801用日本語MS-DOS V3.1以降

(3)プリンタ

NEC製PC201系プリンタ(201PL規格プリンタ)

- 注1) NEC製以外のプリンタで、PC201エミュレーション・モードで使用する場合、正常に 出力しないことがあります。
- 注2) 表示画面のハードコピーについては、「2.2 ハードコピー機能」を御覧下さい。
- (4)通信ケーブル

9ピン(オスPC側)/25ピン(オスPC-9801側) ケーブル形式CN905(製品コードTCN905\*CS,別売) 長さ:5メートル

(5) S-LSローダの製品コードと製品媒体

製品コード ... SMM23N\*SS 製品媒体 ... 3.5inch 2HDフロッピーディスク1枚 NECフォーマット

(6)起動方法

フロッピーディスクを挿入し、該当ドライブから[S][L][S][Enter]と入力すると起動します。 ハードディスクがある場合は、フロッピーディスクからSLS.EXEファイルをコピーすれば、同様にご利用頂けます。 2.キーボード対応

2.1 キーボード対応

PC-9801とJ-3100とのキーボード対応について説明します。

伝送ローダ(PC-9801版)と伝送ローダ(J-3100版)の各種キーの機能は、以下に示す表のように対応しています。

+ -	名 称	機
J - 3100	PC - 9801	
	[STOP]	無効(通常は実行中止になります)
	[ C O P Y ]	画面のハードコピーをプリンタに出力します。

#### 表2.1 各種キーの対応

2.2 ハードコピー機能

画面のハードコピー機能について説明します。

通常では【COPY】キーを押して使用します。この場合、テキスト画面のハードコピーは行いますが、グラフィック画面は出力しませんので注意して下さい。。

テキスト画面とグラフィック画面の両方のハードコピーを行う場合は、ハードコピー用のプログラム"H-COPY.EXE"(フリーソフトウェア)を使用して行って下さい。尚、ハードコピー用のプログラムは製 品には添付していませんので、お客様がパソコン通信等で入手して下さい。 3.カラー表示対応

伝送ローダ(PC-9801版)ではカラー表示を行っていますのでそれぞれについて説明します。

3.1 システムー般

システムー般のカラー表示について説明します。

- (1)背景色を黒色で表示します。
- (2) ベース画面及びウィンドウ表示色を白色で表示します。
- (3) ステータス表示行をライトグリーンで表示します。
- (4)ファンクション表示行をシアンで表示します。

下図にシステムー般のメニュー画面を表示します。 尚、上記の(1)~(4)はメニュー画面の(1)~(4)に対応しています。



図3.1 システム一般のメニュー画面

3.2 オンラインマップ

オンラインマップのカラー表示について説明します。

(1)スタンバイモード()を黄色で表示します。

(2)オンラインモード()をライトグリーンで表示します。

下図にオンラインマップ画面を表示します。

尚、上記の(1)、(2)はオンラインマップ画面の(1)、(2)に対応しています。

	<	オン	ライ	ンマ	ップ	>						(1)		(2)		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	↓ 13	14 14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	
		RA	S情	軺												
																退出

# 図3.2 オンラインマップ画面

3.3 スキャンヘルシーマップ

スキャンヘルシーマップのカラー表示について説明します。

(1)スキャン伝送の未実行状態()を白色で表示します。

(2)スキャン伝送の実行状態()をライトグリーンで表示します。

下図にスキャンヘルシーマップ画面を表示します。

尚、上記の(1)、(2)はスキャンヘルシーマップ画面の(1)、(2)に対応します。

	<	ス	<b>+</b> ヤ:	ンへ	ルシ・	-र	ップ	>									
[0000] [0016] [0032] [0048] [0064] [0096] [0112] [0144] [0160] [0176] [0192] [0208] [0224] [0240]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 (1) (2)	
TL: <mark>ONLINE</mark>	次	ا إ	RAS情	<b>訂</b> 報												退	出

図3.3 スキャンヘルシーマップ画面

3.4 ステーション接続図

ステーション接続図のカラー表示について説明します。

(1)オンラインモードのボックスをライトグリーンで表示します。

- (2)スタンバイモードのボックスを黄色で表示します。
- (3)オフラインまたは、未接続状態のボックスを白色で表示します。

下図にステーション接続図画面を表示します。

尚、上記の(1)~(3)はステーション接続図画面の(1)~(3)に対応します。



図3.4 ステーション接続図画面

< 付録 >

# S-LSローダ DOS/V版 御使用上の注意事項

本取扱説明書は、東芝パーソナルコンピュータJ-3100用のS-LSローダでの取扱説明が主体となっています。 S-LSローダをDOS/Vが稼働するパソコン上で御利用いただく場合は、S-LSローダ DOS/V版を御使用 下さい。S-LSローダ DOS/V版はJ3100版を拡張したものです。

ここでは拡張した機能、御利用時の準備と確認事項について説明します。拡張した機能は以下の通りです。

・カラー表示対応

カラー表示はPC-9801版と同じですので、<付録>S-LSローダ PC-9801版 御使用上の注意事項 を御覧下さい。拡張した機能以外は、S-LSローダ J-3100版の取扱説明書を御覧下さい。

#### 1.準備と確認

次の機器および環境設定が必要です。

- (1)下記OSが稼働するIBM PC/AT互換機
   ・1FD(3.5inch 2HD)ドライブ以上
- (2)OS MS-DOS 5.0/V,6.2/V

日英DOS5+DOS/Vエミュレータ PC-DOS6.1/V,6.3/V

- (3)プリンタ
   NEC PC PR201H
   ESC/P 対応プリンタ
   注) 御利用になるプリンタに対応したプリンタドライバを御使用下さい。
- (4)通信ケーブル
   ケーブル形式:CJ905(製品コードTCJ905\*CS,別売)
   両端9ピン D-SUBコネクタ(PC側:オス/パソコン側:メス)
   長さ:5メートル
- (5)S-LSローダの製品コードと製品媒体
   製品コード ... SMM23V\*SS
   製品媒体 ... 3.5inch 2HDフロッピーディスク1枚
   1.44MBフォーマット
- (6)起動方法フロッピーディスクを挿入

フロッピーディスクを挿入し、該当ドライブから[S][L][S][Enter]と入力し、起動します。 ハードディスクがある場合は、フロッピーディスクからSLS.EXEファイルをコピーすれば、同様に 御利用頂けます。

# S-LSローダ DOS/V版 Ver1.1 Ver2.0への変更内容

# 1. 概要

光ループ型伝送路用の"TOSLINE-S20LP"を新規開発しましたので、S-LSローダについてもループ 化に対応しました("ループ版S-LS")。

また、TL-S20用S-LSローダ("従来版S-LS")に機能追加を行いました。

"ループ版S-LS"と"従来版S-LS"を1枚のフロッピーディスクに収納し、接続しているステーションを自動判別し、"ループ版S-LS"または"従来版S-LS"が起動するようにしています。



2. 変更内容

"ループ版S-LS"の詳細については、別冊の取扱説明書(6E3B0704)を参照ください。 ここでは"従来版S-LS"の変更内容について説明します。

2.1 S-LSの起動

S-LSを起動する場合は、パソコンとステーションを指定の伝送ケーブルで接続し、ステーション側の電源を入れてから起動するようにしてください。これは、"ループ版S-LS"と"従来版S-LS"のどちらを起動するか自動判別するためです。

もし、伝送ケーブルを接続しなかったり、ステーションの電源を入れないでS-LSを起動した場合は、次のような メッセージを表示しますので、伝送ケーブルの接続またはステーションの電源を入れてから再接続処理を要求してくだ さい。



2.2 "従来版 S-LS"の変更内容一覧

(1) "設定情報・スキャン伝送情報"機能にファイルの入出力処理を追加しました。

(2) "設定情報・ステーション制御情報"機能にファイルの入出力処理を追加しました。

(3) "設定情報・SIF部設定情報"機能にファイルの入出力を追加しました。

- (4) "データアクセス・スキャンエリアアクセス"機能にファイルの入出力処理を追加しました。
- (5) "設定情報・スキャン伝送情報"機能に回線要求処理を追加しました。
- (6) "設定情報・ステーション制御情報"機能に回線要求処理を追加しました。
- (7) "設定情報・SIF部設定情報"機能に回線要求処理を追加しました。

8

#### 2.3 変更内容詳細

2.3.1 設定情報・スキャン伝送情報ファイルの入出力処理

スキャン伝送情報画面でステーションナンバーを指定し[Enter] キーを押すと"スキャン伝送情報"の設定値が読み 出せます。さらに[F1]キー"設定"を入力すると設定モード画面になります。設定モード時のファンクションキー は、[F4]キーの"登録"と、[F10]キーの"退出"だけでしたが、[F5]キーに"FD書込"、[F6]キー に"FD読出"を追加しました。

<設	定情報・ 	スキ	ドャン伝送情報・設定モ− 1 2 3	- ド画面例	列 > 4	5	6	7
1 3 4 5 6 7 8 9 10 11 23 4 5 6 7 8 9 10 11 23 14 15 6 7 8 9 0 11 23 4 5 6 7 8 9 0 11 23 4 5 6 7 8 9 0 11 23 4 5 6 7 8 9 0 11 23 14 5 6 7 8 9 0 11 12 13 14 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 5 16 17 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		1. 2. 3. 4. 5.	< スキャン伝送情報 ステーションNO. ステーション種別 送信先頭アドレス1 送信ワード数1 送信5頭アドレス2 送信ワード数2	> ( 1 - ( 0 - ( 0 - ( 0 - ( 0 -	64 ) 1023 ) 1024 ) 1023 ) 1024 )	[ 01 ] T3 STN [ 0512 ] [ 0128 ] [ 0640 ] [ 0128 ]		
22 23 24	TL:ON	LINE	設定情報 4 登録	設定 5 FD書i	入 <sub>6 FD</sub> 読出		9 🔲	線 10 退出
25							~ III	

### 操作方法

[F5]キーの入力により"スキャン伝送情報のFD書き込み"処理を、[F6]キーの入力により、 "スキャン伝送情報のFD読み出し"処理を実行します。 [F5]キー"FD書込"を選択すると、以下の画面を表示します。

<設定情報・スキャン伝送情報・設定情報書き込み画面例>



指定ファイルの入力

矢印キー [ ]、 [ ]でディレクトリを選択します (反転表示部がパスに表示されます)。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[]、[]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

ディレクトリを作成する場合は[F4]キーを押し、ディレクトリ名を入力し[Enter] キーを押します。 英文字キー([A]~[Z]、[a]~[z])、数字キー([0]~[9])でファイル名を指定し、[Enter] キーを押す と、ファイル名を指定することができます。

文字の削除は[BS]キーで行います。[BS]キーが入力されるとカーソルの表示されている前の1文字 を削除します。

<例>

toslpd\_\_\_\_\_[BS]キー入力 toslp へ カーソル へ

カーソル

指定するファイルの拡張子は"\*.CFG"にしてください。入力されたファイル名に拡張子がない場合は、自動的に拡張子を付けます。また、拡張子が"CFG"で無い場合はエラーにします。

ファイル名に漢字は使用できません。

書き込み処理が終了すると、スキャン伝送情報画面に戻ります。 [F10] キーの入力で処理を中断し、スキャン伝送情報画面に戻ります。 [ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。 ファイルフォーマット

0	4	8 I	12	16	17 (k	oyte)
送信先頭アドレス1	送信ワード数1	送信先頭アドレス2	送信ワード数2	CR	LF	

全18Byte 送信先頭アドレス1:4Byte 送信ワード数1 :4Byte 送信先頭アドレス2:4Byte 送信ワード数 2 :4Byte 
 CR(キャリッシ・リターン)
 : 1 Byte

 CF(ラインフィールト・)
 : 1 Byte
 指定されたファイルに上記のフォーマットで保存します。

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルが在った場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ち にします。

同名のフス	ァイルが存在します。	上書きしますか?	
Y:実行	N:中止		

[Y]、[y]キー:ファイルに情報を書き込みます。 [N]、[n]キー:書き込み処理を中止します。 [Enter]キー : 反転表示部 (上図では "Y: 実行")を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。 キー入力後は、再度ファイル名の入力処理を実行します。

# ファイル名の指定に誤りがあります

何かキーを押して下さい。

2.3.1.2 設定情報・スキャン伝送情報ファイルの入力処理

[F6]キー"FD読出"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・スキャン伝送情報・設定情報読み出し画面例>

	1	2 3	4 5	6 7	8
1					
2		< ファ・	イルー覧表 >		
4 5 6	親ディレクトリ	TYPE0011.CFG	TYPE0021.CFG	TYPE0031.CFG	
7 8	¥SLSWORK2	TYPE0012.CFG	TYPE0022.CFG	TYPE0032.CFG	
9 10	¥SLSWORK3	TYPE0013.CFG	TYPE0023.CFG	TYPE0033.CFG	
11 12	TYPE0003.CFG	TYPE0014.CFG	TYPE0024.CFG	TYPE0034.CFG	
13 14	TYPE0004.CFG	TYPE0015.CFG	TYPE0025.CFG	TYPE0035.CFG	
15 16 17	TYPE0005.CFG	TYPE0016.CFG	TYPE0026.CFG	TYPE0036.CFG	
18 19 20 21	ファイルを指定し ディレクトリ:C: <sup>3</sup>	て[Enter]を押 #SLSWORK	して下さい。		
22 23 24 25	TL:ONLINE 設 2次頁 3	定情報設定 ∑ライブ	FD読出	10 退	

ファイルの選択

矢印キー[]、[]、[]、[]でファイルを選択し[Enter] キーを押します(ディレクト リを切り替える場合も同様)。

ファイル数(ディレクトリ数も含めて)が24を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2]キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[ ]、[ ]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、スキャン伝送情報画面に戻ります。

[F10] キーの入力で処理を中断し、スキャン伝送情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

#### 2.3.2 ステーション制御情報ファイルの入出力処理

ステーション制御情報画面でステーションナンバーを指定し[Enter] キーを押すと"ステーション制御 情報"の設定値が読み出せます。さらに[F1]キー"設定"を入力すると設定モード画面になります。 設定モード時のファンクションキーは、[F4]キーの"登録"と、[F10]キーの"退出"だけでし たが、[F5]キーに"FD書込"、[F6]キーに"FD読出"を追加しました。

<設定情報・ステーション制御情報・設定モード画面例>

			1	2	3	4		5	6	7	8
1 2				<ol> <li></li></ol>	<u>//11/= +17</u>						
3 4			< AF	ーション利	御宵牧	>					
5		1.	ステーシ	ョンNO.	(	1 - 64	)	01			
6 7 8		2.	スキャン	伝送	촟	禁止	<u>許可</u>				
9		3.	スキャン	アクセス		1 W	<u>2 W</u>				
10 11 12		4.	メッセー	ジ伝送	촜	禁止	<u>許可</u>				
13		5.	目標サイ	クル時間		[ 49.2	] m s e	с			
14 15 16 17		6.	スタンバ	イ立ち上げ	<u>.</u>	<u>t3</u>	しない				
18 19 20											
20 21											
22											
23	TL:ONL	I NE	設	定情報		安定					
24 25				4	귨 ე ⊦	D 雪込 0	FD記出			9 凹線	10 退田

### 操作方法

[F5]キーの入力により"ステーション制御情報のFD書き込み"処理を、[F6]キーの入力により、"ステーション制御情報のFD読み出し"処理を実行します。

[F5]キー"FD書込"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・ステーション制御情報・設定情報書き込み画面例>

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
∠ 3 ∡			< ディ	・レクトリー	覧 >			
5 6 7	C:¥ WORK WORK1							
8 9 10	WORK2 WORK3 WORK4							
11 12 13	SLS SLS_SR SLS_OB	C J						
14 15 16 17		I S_DAT1						
18 19 20	パスと保存する パス [ C:¥	ファイル名	を指定して	[Ente	r ]を押し	、て下さい。		1
21 22	ファイル[	]						-
23 24	TL:STANDBY 2次頁	設定情報 3 ドライブ4	部 MKDIR	<u>定</u>	FD書込		10 1	艮出
20								

指定ファイルの入力

矢印キー[ ]、[ ]でディレクトリを選択します(反転表示部がパスに表示されます)。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[]、[]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

ディレクトリを作成する場合は[F4]キーを押し、ディレクトリ名を入力し[Enter] キーを押します。 英文字キー([A] ~ [Z]、[a] ~ [z])、数字キー([0] ~ [9])にてファイル名を指定し、[Enter] キーを押 すことにより、ファイル名を指定することができます。

文字の削除は[BS]キーで行います。[BS]キーが入力されるとカーソルの表示されている前の1文字 を削除します。

を 「例> toslpd\_ [BS]キー入力 toslp へ か-ソル してください。入力されたファイル名に拡張子がない場 合は、自動的に拡張子を付けます。また、拡張子が"STN"で無い場合はエラーにします。

ファイル名に漢字は使用できません。

書き込み処理が終了すると、ステーション制御情報画面に戻ります。 [F10] キーの入力で処理を中断し、ステーション制御情報画面に戻ります。 [ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。 ファイルフォーマット

0	2	3	4	5	7	12	13	14 (t	oyte)
ステーション	スキャン	アクセス	メッセーシ゛	テーフ゛ルインテ゛ックス	目標サイクル時間	スタンバ イ	C R	LF	

全15Byte

ステーションNO.	:2Byte	
スキャン伝送	:1Byte	
スキャンアクセス	:1Byte	
メッセージ伝送	:1Byte	
目標サイクル時間(テ	ーブ ルインデ ックス)	:2Byte
目標サイクル時間	:5Byte	
スタンバイ	:1Byte	
CR(キャリッジリターン)	:1Byte	
LF(ラインフィールト゛)	:1Byte	

指定されたファイルに上記のフォーマットで保存します。

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルが在った場合以下のメッセージを表示し、キー入力待ちに します。

同名のファイルが存在します。上書きしますか? Y:実行 N:中止
-------------------------------------

[Y]、[y]キー:ファイルに情報を書き込みます。
 [N]、[n]キー:書き込み処理を中止します。
 [Enter]キー:反転表示部(上図では"Y:実行")を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。 キー入力後は、再度ファイル名の入力処理を実行します。

ファイル名の指定に誤りがあります 何かキーを押して下さい。

#### 2.3.2.2 ステーション制御情報ファイルの入力処理

[F6]キー"FD読出"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・ステーション制御情報・設定情報読み出し画面例>

	1	2	3	4	5	6	7	8			
1											
∠ 3	< ファイル一覧表 >										
4 5 0	親ディレクトリ	ΤY	PEOO11.STN	TYPE	E0021.STN	TYPE	031.STN				
б 7 о	¥SLSWORK2	TY	PEO012.STN	TYPE	E0022.STN	TYPE	032.STN				
0 9 10	¥SLSWORK3	TY	PE0013.STN	TYPE	E0023.STN	TYPE	033.STN				
10 11 12	TYPE0003.STN	TY	PE0014.STN	TYPE	E0024.STN	TYPE	034.STN				
12 13	TYPE0004.STN	TY	PE0015.STN	TYPE	E0025.STN	TYPE	035.STN				
14 15 16	TYPE0005.STN	ΤY	PE0016.STN	TYPE	E0026.STN	TYPE	0036.STN				
10 17 18											
19 20											
20 21 22											
23 24	TL:ONLINE 設定情報 設定 FD読出										
2 <del>4</del> 25		1 717									

ファイルの選択

矢印キー[]、[]、[]、[]でファイルを選択し[Enter]キーを押します(ディレクトリを切り替える場合も同様)。

ファイル数(ディレクトリ数も含めて)が24を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2]キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[ ]、[ ]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、ステーション制御情報画面に戻ります。

[F10] キーの入力で処理を中断し、ステーション制御情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

### 2.3.3 SIF部設定情報ファイルの入出力処理

SIF部設定情報画面でステーションナンバーを指定し[Enter] キーを押すと"SIF部設定情報"の 設定値が読み出せます。さらに[F1]キー"設定"を入力すると設定モード画面になります。設定モー ド時のファンクションキーは、[F4]キーの"登録"と、[F10]キーの"退出"だけでしたが、 [F5]キーに"FD書込"、[F6]キーに"FD読出"を追加しました。

<設定情報・	S	Ι	F	部設定情報·	・設定モー	ド画面例>
--------	---	---	---	--------	-------	-------

		1	2	3	4	5	6		7	8
1										
3		< S	TF部設定	[情報	ポート1 :	>				
4		-								
5	1.	ステー	ションNC	).	(1-64	) 01				
6	2.	ボーレ	<b>-</b> ト		300 600	1200 2400	4800	9600	19200	
7	3.	データ	長		7 <u>8</u>	(Bit)				
8	4.	パリテ	1		無し <u>奇</u>	<u>数</u> 偶数				
9	5.	ストッ	プビット		<u>1</u> 2	(Bit)				
10	6.	フロー	コントロー	ール	<u>有り</u> 無		~~~ . — .			
11	7.	伝送種	別		<u>メッセー</u>	ジ伝送無意	÷順/同報	蓛		
12	8.	マルナ	キャスト		(0-9,	無し:ト)	[⊦]			
13	0	アトレ	人		( 1 64	<b>毎</b> 1.0 )	[62]			
14 15	9.	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	阳 <del>丁</del> 元 7		(1-04	, <del>m</del> U.0)	[03]			
16	10	毎手順	へ 相手先		<b>毎</b> し、1	2				
17		ポート			<u> </u>	-				
18										
19										
20										
21										
22										
23	TL:ONLIN		設正情報	2843	設定	5++11			//白 / 6	\BILL
24		2 次項	4	登録	5 FD     FD	D読出		9 回	線 10	退出
25										

# 操作方法

[F5]キーの入力により"SIF部設定情報のFD書き込み"処理を、[F6]キーの入力により、 "SIF部設定情報のFD読み出し"処理を実行します。
[F5]キー "FD書込"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・SIF部設定情報・設定情報書き込み画面例>



指定ファイルの入力

矢印キー[ ]、[ ]でディレクトリを選択します(反転表示部がパスに表示されます)。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[]、[]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

ディレクトリを作成する場合は[F4]キーを押し、ディレクトリ名を入力し[Enter] キーを押します。 英文字キー([A]~[Z]、[a]~[z])、数字キー([0]~[9])にてファイル名を指定し、[Enter] キーを押 すことにより、ファイル名を指定することができます。

文字の削除は[BS]キーで行います。[BS]キーが入力されるとカーソルの表示されている前の1文字 を削除します。

ファイル名に漢字は使用できません。

書き込み処理が終了すると、SIF部設定情報画面に戻ります。

[F10] キーの入力で処理を中断し、SIF部設定情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

ファイルフォーマット

0	1	2	3	4	5	(byte)
ボーレート	データ長	<b>パ リティ</b>	ストップビット	70-コントロ-ル	伝送種別	

6	7	8	9	10	11 (t	byte)
マルチキャストアト・レス	無手順相手先アドレス(階層1)	同(階層2)	無手順相手先ポート	C R	LF	

全12Byte

ボーレート	:	1	Byte
データ長	:	1	Byte
パリティ	:	1	Byte
ストップビット	:	1	Byte
フローコントロール	:	1	Byte
伝送種別	:	1	Byte
マルチキャストアドレス	:	1	Byte
無手順相手先アドレス(階層1)	:	1	Byte
無手順相手先アドレス(階層2)	:	1	Byte
無手順相手先ポート	:	1	Byte
CR(キャリッジリターン)	:	1	Byte
LF(ラインフィールト゛)	:	1	Byte

指定されたファイルに上記のフォーマットで保存します。

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルが在った場合以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

同名のファ	マイルが存在します。	上書きしますか?
Y:実行	N:中止	

[Y]、[y]キー:ファイルに情報を書き込みます。
 [N]、[n]キー:書き込み処理を中止します。
 [Enter]キー:反転表示部(上図では"Y:実行")を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。 キー入力後は、再度ファイル名の入力処理を実行します。

## ファイル名の指定に誤りがあります

何かキーを押して下さい。

#### 2.3.3.2 SIF部設定情報ファイルの入力処理

[F6]キー"FD読出"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・SIF部設定情報読み出し画面例>

	1	2 3	4 5	6 7	8					
1										
2 3		< ファイル一覧表 >								
4 5	親ディレクトリ	TYPE0011.SI1	TYPE0021.SI1	TYPE0031.SI1						
6 7	¥SLSWORK2	TYPE0012.SI1	TYPE0022.SI1	TYPE0032.SI1						
8 9	¥SLSWORK3	TYPE0013.SI1	TYPE0023.SI1	TYPE0033.SI1						
10 11 12	TYPE0003.SI1	TYPE0014.SI1	TYPE0024.SI1	TYPE0034.SI1						
12 13 14	TYPE0004.SI1	TYPE0015.SI1	TYPE0025.SI1	TYPE0035.SI1						
14 15 16	TYPE0005.SI1	TYPE0016.SI1	TYPE0026.SI1	TYPE0036.SI1						
10 17 18										
19 20	ファイルを指定し <sup>-</sup> ディレクトリ・C:3	て[Enter]を KSLSWORK	押して下さい。							
20 7 7 7 7 7 . 0. +5LONONN 21 22										
23 24	TL:ONLINE 設況 2次百 3	<u>に情報</u> 設	定 FD読出	10 ì	凤王					
25										

ファイルの選択

矢印キー[]、[]、[]、[]でファイルを選択し[Enter]キーを押します(ディレクトリを切り替える場合も同様)。

ファイル数(ディレクトリ数も含めて)が24を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2]キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[ ]、[ ]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、SIF部設定情報画面に戻ります。

[F10] キーの入力で処理を中断し、SIF部設定情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

#### 2.3.4 スキャンエリアのアクセスファイルの入出力処理

スキャンエリアのアクセスでステーションNo.、先頭アドレス、読み出しワード数を指定すると画面上にスキャンエリアのデータが10進数形式で表示します。さらに"[F3]設定"を押すと設定モードになり、この画面に"[F5]FD読出"と"[F6]FD書込"を追加しました。

<データアクセス・スキャンエリアのアクセス画面例>

		1	2	3	4	5	6	7	8
1 2		< ス=	キャンエリ	アのアクセ	:ス >				
3 4 5	1.	ステージ	ションNO	. (1	- 64 )	[1]			
6 7	2.	先頭ア	ドレス	( (	) - 1023 )	[ 0]			
8 9	3.	読み出し	しワード数	( 1	- 16 )	[ 16 ]			
10 11	4.	データ							
12 13	0000	0 [ 9029 ]	1 [ 65535 ]	2 [ 4369 ]	3 [ 2]	4 [ 4659 ] [	5 4372][	6 7 5][	6]
14 15	0008	[ 4660 ]	[ 0]	[ 41251 ]	[ 0]	[65331] [	8789 ] [	1][902	29 ]
16 17									
18 19									
20 21									
22 23			· -97/27			設定			
24 25	1 10進数	2 16) 進数	4	豆琢 b HJ	<u>流出</u> 6 FD看			10 1	<u>X</u> III

操作方法

[F5]キーの入力により、"スキャンデータのFD読み出し"処理を、[F6]キーの入力により、 "スキャンデータのFD書き込み"処理を実行します。 [F6]キー"FD書込"が選択されると、以下の画面を表示します。

#### <データアクセス・スキャンエリアのアクセス・スキャンデータの書き込み画面例>

	1 2 3 4 5 6 7 8
1	
2 3	< ディレクトリー覧 >
4 5	C:¥
6 7	
8	WORK2
9 10	WORK3 WORK4
11 12	= SLS = SLS_SRC
13 14	SLS_OBJ SLS_DAT
15 16	L= SLS_DAT1 TI S20
17	$= TL_S20LP$
18 19	パスと保存するファイル名を指定して[Enter]を押して下さい。
20 21	バス [ C:¥ ] ファイル [ ]
22 23	
23	2 次頁 3 <sup>5</sup> 717 4 MKDIR 10 退出
25	

指定ファイルの入力

矢印キー [ ]、 [ ]でディレクトリを選択します (反転表示部がパスに表示されます)。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[]、[]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

ディレクトリを作成する場合は[F4]キーを押し、ディレクトリ名を入力し[Enter] キーを押します。 英文字キー([A]~[Z]、[a]~[z])、数字キー([0]~[9])でファイル名を指定し、[Enter] キーを押す ことにより、ファイル名を指定することができます。

文字の削除は[BS]キーで行います。[BS]キーが入力されるとカーソルの表示されている前の1文字 を削除します。

を 「 を 同院しま9。 く 例 > toslpd\_ 本 か-ソル 指定するファイルの拡張子は"\*.DT1"にしてください。入力されたファイル名に拡張子がない場 合は、自動的に拡張子を付けます。また、拡張子が"DT1"で無い場合はエラーにします。

ファイル名に漢字は使用できません。

書き込み処理が終了すると、スキャンエリアのアクセス画面に戻ります。 [F10] キーの入力で処理を中断し、スキャンエリアのアクセス画面に戻ります。 [ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。 ファイルフォーマット

0		4	9 I	14	19	24	29	34	39	(	byte)
7	<sup>ト</sup> レス1	デ−タ1	デ <i>−</i> タ2	デ <i>−</i> 93	デ−タ4	テ <sup>゙</sup> −タ5	データ6	デ <i>−</i> 97	<del>,</del> -	· <b>9</b> 8	
44		49	54	59	64	69	74	79	84	85 (	byte)
Ŧ	-99	デ <i>−</i> 910	テ <sup>゙</sup> −911	デ <i>−</i> 912	テ <sup>゙</sup> -⁄913	テ <sup>゙</sup> -⁄914	テ <sup>゙</sup> −タ15	テ <sup>゙</sup> -916	CR	LF	
	全86Byte アドレフ1 ・4Byte										

アドレス1 :4Byte データ(1~16):5Byte×16 CR(キャリッジリターン) :1Byte CF(ラインフィールド) :1Byte

指定されたファイルに上記のフォーマットで保存します。

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルが在った場合以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

同名のフ	ァイルが存在します。	上書きしますか?
Y:実行	N:中止	

[Y]、[y]キー:ファイルに情報を書き込みます。 [N]、[n]キー:書き込み処理を中止します。 [Enter]キー :反転表示部(上図では"Y:実行")を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。 キー入力後は、再度ファイル名の入力処理を実行します。

ファイル名の指定に誤りがあります 何かキーを押して下さい。

-77-

#### 2.3.4.2 スキャンエリアのアクセスファイルの入力処理

[F5]キー"FD読出"が選択されると、以下の画面を表示します。

< データアクセス・スキャンエリアのアクセス・スキャンデータの読み出し画面例 >

	1	2	3 4	5	6	1	8				
1											
2		< ファイル一覧表 >									
4 5 0	親ディレクトリ	TY	PE0011.DT1	TYPE0021.D	T1 TYPE	:0031.DT1					
0 7	¥SLSWORK2	TY	PE0012.DT1	TYPE0022.D	T1 TYPE	:0032.DT1					
8 9 10	¥SLSWORK3	TY	PE0013.DT1	TYPE0023.D	T1 TYPE	:0033.DT1					
10	TYPE0003.D	DT1 TY	PE0014.DT1	TYPE0024.D	T1 TYPE	:0034.DT1					
12 13	TYPE0004.D	DT1 TY	PE0015.DT1	TYPE0025.D	T1 TYPE	:0035.DT1					
14	TYPE0005.D	DT1 TY	PE0016.DT1	TYPE0026.D	T1 TYPE	:0036.DT1					
10 17 10											
10 19 20	ファイルを指	定して[Er	nter]を打	甲して下さい。							
20 21 22	510515		<b>`</b>								
22 23 24	TL:ONLINE 2 次百	デ <sup>・</sup> ータアクセス		設	定	FD読出	通出				
24 25		5 1 717				10	ЖШ				

ファイルの選択

矢印キー[]、[]、[]、[]でファイルを選択し[Enter]キーを押します(ディレクトリを切り替える場合も同様)。

ファイル数(ディレクトリ数も含めて)が24を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2]キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は[F3]キーを押し、矢印キー[]、[]で目的のドライブを選択し、 [Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、スキャンエリアのアクセス画面に戻ります。

[F10] キーの入力で処理を中断し、スキャンエリアのアクセス画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

2.3.5 回線要求処理(ファンクション[F9])追加

スキャン伝送情報画面、ステーション制御情報画面、SIF部設定情報画面の[F9]キーに"回線"を追加しました。

<設定情報・スキャン伝送情報の例>

		1	2	3	4	5	6	7	8
1 2									
3 ⊿		< スキ	キャン伝送	青報 >					
5	1.	ステー	ションNO	. (	1 - 64 )	[01]			
ю 7 о	2.	ステー	ション種別			T3 ST	N		
0 9 10	3.	送信先頭	頭アドレス	1 (	0 - 1023 )	) [0512]			
10 11 12	4.	送信ワ・	ード数 1	(	0 - 1024 )	) [0128]			
13	5.	送信先頭	頭アドレス	2 (	0 - 1023	) [0640]			
14 15 16	6.	送信ワ・	ード数2	(	0 - 1024 )	) [0128]			
17 18									
19 20									
21 22									
23 24	TL:ONLIN 1 設定		設定情報					9 回線 1	)很出
25									

## 操作方法

[F9]キーの入力により"回線要求"処理を実行します。

2.3.5.1 回線要求画面

[F9]キー"回線"が選択されると、以下の画面を表示します。

< 設定情報・スキャン伝送情報・回線要求画面例 >



#### 操作方法

矢印キー[ ]、[ ]でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押すことにより回線要求の詳細項目 を選択することができます。

また、数値(1、2)をキー入力することにより詳細項目を選択することもできます。

6 E 3 B 0 5 3 5

2.3.5.2 オンライン要求画面

"オンライン要求"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・スキャン伝送情報・オンライン要求画面例>

		1	2	3	4	5	6	7	8
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1. 2. 3. 4.	< ス ステー: ステー: 送信先! 送信ワ・	- キャン伝送 ションNO ション種別 頂アドレス ード数1	情報 > · ( 1 (	1 - 64 ) 0 - 1023 ) 0 - 1024 )	[ 01 ] T3 STN [ 0512 ] [ 0128 ]			
13 14 15 16 17 18	5.	送信先頭	項アドレス −ド数 2	2 (	0 - 1023 ) 0 - 1024 )	[ 0640 ] [ 0128 ]			
20 21 22 23 24 25	TL: <mark>ONLINE</mark> 1 設定	< オンラ <i>・</i> 댰-ションNo.	イン要求 > (1~64)を, 役定情報	入力して[ 	Enter]を押 回線	して下さい。 わうわ	[ ]	10	退出

# 操作方法

数値キーを入力して[Enter]キーを押すことによりステーションNo.を指定することができます。

6 E 3 B 0 5 3 5

2.3.5.3 スタンバイ要求画面

"スタンバイ要求"が選択されると、以下の画面を表示します。

<設定情報・スキャン伝送情報・スタンバイ要求画面例>

			1	2	3	4	5	6	7	8
$\begin{array}{c}1\\2\\3\\4\\5\\6\\7\\8\\9\\10\\11\\2\\3\\14\\15\\16\\17\\18\end{array}$		<ol> <li>1.</li> <li>2.</li> <li>3.</li> <li>4.</li> <li>5.</li> <li>6.</li> </ol>	< スス送送送送 (スーク) にってい こう こう こう こう こう こう こう いう	- ヤン伝送 / ョン N O アドレス - ド数 1 - ド数 2	<pre></pre>	( 1 - 64 ) ( 0 - 1023 ( 0 - 1024 ( 0 - 1023 ( 0 - 1024	[ 01 ] T3 ST ) [ 0512 ] ) [ 0128 ] ) [ 0640 ] ) [ 0128 ]	Ν		
19 20 21 22 23 24 25	TL:0NI 1 設定	ג INE	< スタンハ テーションNo.(	、イ要求 > 1~64)を 定情報	入力して	[Enter]を押 回線	して下さい。 スタンバイ	. [ ]	10	) 退出

# 操作方法

数値キーを入力して[Enter]キーを押すことによりステーションNo.を指定することができます。

2.3.5.4 回線要求実行確認画面

"オンライン要求"または"スタンバイ要求"で、ステーションNo.が指定されると以下の画面を表示します。 <設定情報・スキャン伝送情報・実行確認画面例>

		1	2	3	4	5	6	7	8
$\begin{array}{c}1\\2\\3\\4\\5\\6\\7\\8\\9\\10\\11\\2\\13\\14\\15\\16\\17\\18\end{array}$	1. 2. 3. 4. 5. 6.	< スキ ステーシ ス 活 信 信 信 信 ワー 頭	ャン伝送情 ョンNO . ョン種別 アドレス1 ド数1 アドレス2 ド数2	报 > ( <sup>(</sup> ( ( ( (	1 - 64 ) 0 - 1023 ) 0 - 1024 ) 0 - 1023 ) 0 - 1024 )	[ 01 ] T3 STN [ 0512 ] [ 0128 ] [ 0640 ] [ 0128 ]			
19 20 21 22 23 24 25	TL: <mark>ONLINE</mark> 1 設定	実行して良 (:実行 	いですか。 N:中止 <b>定情報</b>		口線	オンライン		10 ì	

#### 操作方法

矢印キー([]、[])または、"Y"、"N"をキー入力することにより実行/中止にカーソル を移動させ[Enter]キーを押して下さい。

実行が正常に完了した時、次のメッセージを表示しキー入力待ちになります。

処理を完了しました。 何かキーを押して下さい。	
----------------------------	--

また、異常完了した時は、ビープ音を鳴らし異常内容を表示してキー入力待ちになります。

(異常内容を表示します) 何かキーを押して下さい。			
------------------------------	--	--	--

S-LSローダ DOS/V版 Ver2.0 Ver2.1への変更内容

1.概要

TOSLINE-S20ステーションのローダポートのパリティ設定を変更できる機能を追加しました。 変更できるステーションの種別は次の通りです。

T 3 / T 3 H用 ... SN 3 2 1 / SN 3 2 2 A / SN 3 2 3 A / SN 3 2 4 T 2 / T 2 E / T 2 N 用 ... SN 2 2 1 / SN 2 2 2 A

上記ステーションのローダポートのパリティ設定を次の何れかに設定できます。 (1)パリティ偶数 (工場出荷設定) (2)パリティ無し

# 2. 変更内容

- 2.1.変更内容一覧
  - (1)起動時のパリティ設定
    - 起動時に、S‐LSローダ自身のパリティ設定を可能にしました。
  - (2)ステーション制御情報画面
     ステーション制御情報画面に"パリティ設定・偶数/無し"の項目を追加しました。
     (3)パリティ設定変更コマンド
  - 動作中に、S-LSローダ自身のパリティ設定を変更するコマンドをメニューに追加しました。

~~~~

- 2.2.変更内容詳細
  - 2.2.1.起動時のパリティ設定
    - < 起動時のパリティ設定画面例 >

パリティ設定を選択してください。 [<mark>偶数</mark> / 無し] ∞∞∞

起動時に、S-LSローダ自身のパリティ設定を可能にしました。

|   | 処理で異常が発生しました。再度接続処理を実行しますか?          |        |
|---|--------------------------------------|--------|
|   | [Yes / No]                           |        |
|   | パリティ設定を選択してください。                     |        |
|   | [偶数 / 無し]                            |        |
| * | <br>^~ ~                             | <br>~~ |
|   |                                      |        |
|   | ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー |        |

- 84 -

### 2.2.2.ステーション制御情報画面

<設定情報・ステーション制御情報・設定モード画面例>



7.に"パリティ設定・偶数/無し"の項目を追加しました。

2.2.3.パリティ設定変更コマンド

<環境情報画面例>

| * * * 伝送                          | ローダメニュー *** |  |  |  |  |
|-----------------------------------|-------------|--|--|--|--|
| 日設定情報                             | ∠理接框お       |  |  |  |  |
| D:データアクセス                         |             |  |  |  |  |
| R: R A S 情報                       |             |  |  |  |  |
| C:回線要求                            | 2:ハリティ無し    |  |  |  |  |
| T:テスト要求                           |             |  |  |  |  |
| S:ステーション接続図                       |             |  |  |  |  |
| E:環境情報                            |             |  |  |  |  |
| Q:終了                              |             |  |  |  |  |
| [ ]又は[ ]キーにて選択後、[Enter]キーを押して下さい。 |             |  |  |  |  |
|                                   |             |  |  |  |  |
|                                   |             |  |  |  |  |

"E:環境情報"を追加し、本項目選択時に、S-LSローダ自身のパリティを再設定できます。

# 3.利用方法

# パリティ設定変更機能は次の目的でご使用ください。



ステーションローダポートにモデムを接続し、相手のモデムにパソコンを接続してT-PDSによるリモートメンテ ナンスを行うとき、使用するモデムのパリティ設定が**パリティ無し**しか選択できない場合。 これ以外は従来通り、パリティ偶数でご利用ください。

# S-LSローダ エラー応答メッセージー覧

S-LSからの要求に対し、接続ステーションからエラー応答コマンドが送られて来た時に、 下記の形式でエラー応答メッセージを表示します。

ssvv : X X X X · · · · · · · X X X

ss vv エラーステータス エラー付加情報

XXXX · · · · X エラーメッセージ

| エラー<br>ステータス | 内容      | エラー<br>付加情報 | メッセージ内容          |
|--------------|---------|-------------|------------------|
| 0 1          | コマンドエラー | 0 1         | コマンド番号エラー        |
|              |         | 02          | サブコマンド番号エラー      |
| 02           | フォーマット  | 0 1         | E T X 未検出        |
|              |         | 1 1         | SIFポート種別異常       |
|              |         | 12          | SIFボーレート異常       |
|              |         | 13          | S I F データ長異常     |
|              |         | 14          | SIFパリティビット異常     |
|              |         | 15          | SIFストップビット異常     |
|              |         | 16          | SIFフロー制御異常       |
|              |         | 17          | SIF伝送種別異常        |
|              |         | 18          | SIFマルチアドレス異常     |
|              |         | 19          | SIF無手順相手先アドレス異常  |
|              |         | 1 A         | SIF相手先ポート異常      |
|              |         | 2 1         | スキャン伝送禁止 / 許可異常  |
|              |         | 22          | スキャンアクセスワード異常    |
|              |         | 2 3         | メッセージ伝送禁止 / 許可異常 |

| エラー<br>ステータス | 内容                         | エラー<br>付加情報     | メッセージ内容           |
|--------------|----------------------------|-----------------|-------------------|
| 02           | フォーマット                     | 24              | 目標サイクル時間異常        |
|              | ту-                        | 2 5             | ラウンドトリップ時間異常      |
|              |                            | 26              | スタンバイ済み設定異常       |
|              |                            | 3 1             | スキャン伝送ステーション種別異常  |
|              |                            | 32              | スキャン伝送先頭アドレス異常    |
|              |                            | 33              | スキャン伝送ワード数異常      |
|              |                            | 4 1             | システムエリア先頭アドレス異常   |
|              |                            | 4 2             | システムエリアバイト数異常     |
|              |                            | 48              | SIFアクセス先頭アドレス異常   |
|              |                            | 49              | SIFアクセスバイト異常      |
|              |                            | 5 1             | メッセージエリア先頭アドレス異常  |
|              |                            | 52              | メッセージエリアバイト数異常    |
|              |                            | 6 1             | スキャン先頭アドレス異常      |
|              |                            | 62              | スキャンエリアバイト数異常     |
|              |                            | 71              | メモリクリアーメモリ種別異常    |
|              |                            | 8 1             | スキャンマップページ種別異常    |
|              |                            | 91              | 1 次局テスト自局アドレス異常   |
|              |                            | 92              | 1次テストステーションアドレス異常 |
| 03           | ВССエラー                     | 0 1             | 1 次局 B C C エラー    |
|              |                            | 02              | 2 次局 B C C エラー    |
| 04           | モードエラー                     | ステーション<br>ステータス | ステーションモード異常       |
| 0 5          | タイムアウト異常                   | 0 1             | 入力タイムアウト          |
| 0 6          | E E P R O M<br>まきい ユ エ ニ ― | 0 1             | SIF設定データ書き込み異常    |
|              | 盲c心のエノー                    | 02              | SIF設定BCC書き込み異常    |

| エラー<br>ステータス | 内容                 | エラー<br>付加情報     | メッセージ内容                 |
|--------------|--------------------|-----------------|-------------------------|
| 06           | EEPROM<br>またい ルエニー | 03              | ステーション制御情報書き込み異常        |
|              | 青さ込みエフー            | 04              | ステーション制御情報 B C C 書き込み異常 |
|              |                    | 05              | スキャン伝送設定書き込み異常          |
|              |                    | 06              | スキャン伝送設定BCC書き込み異常       |
| 07           | 通信エラー<br>(RS-232C) | 0 1             | ASCIIJ-                 |
| 08           | 伝送路エラー             | 0 1             | 相手局ビジー                  |
|              |                    | 02              | 応答タイムアウト                |
|              |                    | 03              | フレームレングス異常              |
|              |                    | 04              | 伝送種別異常                  |
|              |                    | 05              | 自局メッセージ伝送禁止モード          |
|              |                    | 06              | 相手局メッセージ伝送禁止モード         |
| 09           | アドレスエラー            | 0 1             | 1 次局入力テキストアドレス異常        |
|              |                    | 02              | 2 次局受信テキストアドレス異常        |
| 0 A          | レングスエラー            | 0 1             | 1 次局入力テキストレングス異常        |
|              |                    | 02              | 2 次局受信テキストレングス異常        |
| 0 C          | ステーション<br>アンマッチエラー | ステーション<br>ステータス | ステーション種別異常              |
| 0 D          | テストエラー             | 0 1             | ハードウェアテスト異常             |
|              |                    | 02              | ステーション折り返し異常            |